



調査中に出土した旧石器



最初に発見された旧石器



報道関係者に公開された現地

## 「今から約12万年前の日本最古の旧石器」 多伎町多岐地内「砂原遺跡」

このたび、同志社大学を中心とする調査団が、多伎町多岐地内の丘陵地において発掘調査を行い、20点の石器を発見しました。石器には、長さ約5センチの玉髓製(めのうの一種)の石片や、先を尖らせた三角形の石片があり、人が叩いて作ったものと認められます。出土した地層の年代から、砂原遺跡の石器は約12万年前のもので、日本最古の旧石器と確認されました。今まで国内最古とされていた旧石器は、岩手県遠野市の金取遺跡から出土した約8万年前のものでした。

出土した石器などは、10月10日(土)～25日(日)まで県立古代出雲歴史博物館(大社町)で展示されます。なお、発見された現地は私有地であるため、一般公開は行われていません。

### 目次

市長ポスト・市長メール	2～3
インフルエンザ予防対策	4～5
土曜日・日曜日の窓口開設	6
お知らせ	16～19